

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

山の遊びからしごと創生プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県刈田郡七ヶ宿町

3 地域再生計画の区域

宮城県刈田郡七ヶ宿町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本町の観光産業は、冬期間の出稼ぎ対策も兼ねて昭和60年に開設した町営七ヶ宿スキー場を核として自然由来の資源を活用する形で推進してきており、年間の観光客数も50万人を超える状況にありましたが、近年頭打ち傾向が続いていることから、地方版総合戦略で掲げる70万人を達成するため、新たな雇用にもつながる体験型観光産業の創出を目指します。

スキー場は、通年雇用と施設の有効活用を図る観点から、冬場以外にも夏場のゲレンデをグラス（芝）スキーやボードなどのスポーツ施設として運営を行うほか、平成25年に開催したグラススキー世界選手権などを通して選手育成にも貢献してきた施設であります。しかし、入場者数減少によって収益確保が不安視され、将来の事業継続と雇用の維持等の危惧があります。加えて近年は、鳥獣（イノシシ）によるゲレンデへの被害が拡大して、利用の安全性を担保するための施設の維持費用が増大して生産性が低下してきています。

また、豊富な自然資源を活用する形で見る観光を主に推進してきており、付加価値をつけた体験型観光の推進とこれを強みに関連づける人材や担い手等の不足などから通過型の観光客が主となり、リピーターの確保策が遅れた。

4-2 地方創生として目指す将来像

地方版総合戦略に掲げる観光入込客数70万人を達成するため、自然・文化等の観光に加え、リピート率高く、面白さのある体験型観光産業の創出を目指します。通年を通して活用可能なスキー場を核として、アウトドアや各種アクティビティースクールなどの自然を生かした体験型の遊びを提供し、見る観光から地域資源に付

加価値をプラスした、体験型・滞在型観光プログラム提供による体験型観光産業を創出し、新分野でのしごと創出による所得向上を図り、雇用拡大と人材育成を推進します。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30年度 増加分 1年目	H31年度 増加分 2年目	H32年度 増加分 3年目	H33年度 増加分 4年目	H34年度 増加分 5年目	KPI増加 分の累計
育成された「遊び指導者数」	0人	0人	2人	1人	0人	0人	3人
来場客数	23,000人	0人	1,000人	2,000人	2,000人	2,000人	7,000人

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本事業は、スキー場に地域間交流施設を新たに整備し、受け入れ規模の拡大と、地元団体及び隣県団体と連携し、運営や指導方法、安全管理などのノウハウを研修するための指導者を招聘し、アウトドアや各種アクティビティースクールなどの自然を生かした体験型の遊びを提供し、大人も子どももワクワクする遊びを探しだし、仮称ふるさと体験交流館（宿泊施設）と連携し、教育旅行や合宿等の誘致拡大を図り、交流人口の増加につなげ、次第に自立に向けた担い手を確保します。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

宮城県刈田郡七ヶ宿町

② 事業の名称：山の遊びからしごと創生プロジェクト

③ 事業の内容

通年を通して活用可能なスキー場内に「山の遊び」を提供し、併せて「遊び指導者」の育成・研修拠点となる施設（山の遊び館）を整備します。

初期段階では、運営や指導方法、安全管理などのノウハウを研修するための指導者を招聘し、アウトドアや各種アクティビティースクールなどの自然を生かした体験型の遊びを提供し、大人も子どももワクワクする遊びを探しだし、

遊べるステージを作る施設とすることで、次第に自立に向けた担い手を確保します。

また、当スキー場は山形県境に位置し、以前から山形県高畠町民や小中学生等の利用も多数あることから、子ども世代に対するサービスの提供と指導者の育成などに関して連携した取り組みを目指します。

見る観光から地域資源に付加価値をプラスした、体験型・滞在型観光プログラム提供による体験型観光産業を創出し、新分野でのしごと創出による所得向上を図り、雇用拡大と人材育成を推進します。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【官民協働】

町は、「山の遊び」を提供し、併せて「遊び指導者」の育成・研修拠点となる施設（山の遊び館）を整備し、また、地元関係団体や外部指導者等とのマッチングなどを行い、事業スキームを民間と協働で構築します。民間事業者は、事業の企画運営を行うとともに、スタッフの雇用確保によって安定した運営体制を構築します。

新たな体験型観光産業の創出で町外からの交流人口を拡大することで、地域内の飲食業や小売業、他の観光業等の事業者への波及効果が期待できます

【政策間連携】

本事業は、町内に新たな観光産業を構築することで、経済規模の拡大と雇用機会の創出を目指します。また、将来の担い手となる若者の定着やU・I・Jターンなどの移住促進にも期待しています。

更に、本施設は指導者の育成や研修の拠点となることで、将来の人材と担い手の確保を図る観点から人づくり革命にも資するものです。

【地域間連携】

当地域は山形県境に位置し、以前から山形県高畠町民や小中学生等の利用も多数あることから、特に子ども世代に対するサービスの提供と指導者の育成などに関して連携した取り組みを目指します。また、事業実施の際の募集や広報なども連携します。

【自立性】

事業運営にあたっては、指定管理者である民間事業者が行うことで、時代に即したスピード感のある企画運営が可能となり、付加価値の高いサービスに適正な料金設定（例：森林ワクワク冒険ツアー・食事・ガイド料含み半日 4,000円）によって自立を目指します。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	H33 年度 増加分 4 年目	H34 年度 増加分 5 年目	KPI 増加 分の累計
育成された「遊び指 導者数」	0 人	0 人	2 人	1 人	0 人	0 人	3 人
来場客数	23,000 人	0 人	1,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	7,000 人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度 3 月末時点の KPI の達成状況を、庁内に設置した評価チームと企画担当課がとりまとめて、有識者会議や議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。その結果を PDCA として反映させて、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果は、町のホームページや広報で公表する

【外部組織の参画者】

七ヶ宿町ふるさと創生有識者会議メンバー ○産業：古河林業(株)七ヶ宿林業所長、すみやのくらし代表、七ヶ宿町観光協会長、(株)ゆのはら農産代表 ○東北財務局理財部金融監督官 官公庁：宮城県大河原地方振興事務所地方振興部長 ○学識経験者：事業創造大学院大学事業創造研究科教授 ○金融機関：日本政策金融公庫仙台支店長、仙南信用金庫七ヶ宿支店長 ○労働：七ヶ宿町商工会経営指導員 ○住民：七ヶ宿町議会地方創生研究特別委員会委員長、七ヶ宿町いきいき女性委員会委員長

【検証結果の公表の方法】

町ホームページや広報で公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

総事業費 118,640 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成 35 年 3 月 31 日（5 ヶ年度）

- ⑨ その他必要な事項
特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) グリーンツーリズム体験事業

事業概要：ふるさと体験交流館の宿泊施設を拠点に、自然を活かしたグリーンツーリズム体験事業を実施し、交流人口を図り、地域の賑わい創出を図る。

実施主体：七ヶ宿町

事業期間：平成30年度～

(2) 農山村しちかしゆく自然体験事業

事業概要：年間を通してファミリー層をターゲットとしたイベントを企画し、移住定住支援センターが主体となり、移住推進を積極的に町民が指導者になり運営を実施する。

実施主体：七ヶ宿町・移住定住支援センター

事業期間：平成30年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成35年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

毎年度3月末時点のKPIの達成状況を、庁内に設置した評価チームと企画担当課がとりまとめて、有識者会議や議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。その結果をPDCAとして反映させて、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果は、町のホームページや広報で公表する

【外部組織の参画者】

七ヶ宿町ふるさと創生有識者会議メンバー ○産業：古河林業(株)七ヶ宿林業所長、すみやのくらし代表、七ヶ宿町観光協会長、(株)ゆのはら農産代表 ○東北財務局理財部金融監督官 官公庁：宮城県大河原地方振興事務所地方振興部長 ○学識経験者：事業創造大学院大学事業創造研究科教授 ○金融機関：日本政策金融公庫仙台支店長、仙南信用金庫七ヶ宿支店長 ○労働：七ヶ宿町商工会経営指導員 ○住民：七ヶ宿町議会地方創生研究特別委員会委員長、七ヶ宿町いきいき女性委員会委員長

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	H33 年度 増加分 4 年目	H34 年度 増加分 5 年目	KPI 増加 分の累計
育成された「遊び指 導者数」	0 人	0 人	2 人	1 人	0 人	0 人	3 人
来場客数	23,000 人	0 人	1,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	7,000 人

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、評価検証後に町のホームページで公表を行う。